



2026年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年8月8日

上場会社名 株式会社おきなわフィナンシャルグループ
コード番号 7350 URL <https://www.okinawafg.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山城 正保
問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 砂川 雄一郎

TEL 098 - 860 - 2141

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(表示単位未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	17,034	23.3	3,799	44.5	2,562	50.9
2025年3月期第1四半期	13,806	1.0	2,629	15.8	1,698	11.9

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 4,729百万円 (%) 2025年3月期第1四半期 2,265百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	120.10	120.05
2025年3月期第1四半期	79.56	79.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,022,427	156,957	5.1
2025年3月期	2,979,042	153,508	5.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 156,921百万円 2025年3月期 153,472百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		45.00		60.00	105.00
2026年3月期					
2026年3月期(予想)		60.00		60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,000	16.4	6,400	17.5	4,300	12.4	201.50
通期	68,000	15.7	13,000	23.9	9,000	13.3	421.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	23,016,564 株	2025年3月期	23,016,564 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2026年3月期1Q	1,673,024 株	2025年3月期	1,684,526 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	21,334,482 株	2025年3月期1Q	21,340,586 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(4) (参考) 四半期信託財産残高表	8
3. 補足説明	9
(1) 損益の状況	9
(2) 預金等、貸出金の状況	11
(3) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示	13
(4) 有価証券の評価差額	14
(5) キャッシュレス関連	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、経常収益は、政策金利引き上げを背景とした貸出金利
息や預け金利息の増加に加え、有価証券利息配当金や株式等売却益が増加したことなどにより、前年同期比32億28百
万円増加の170億34百万円となりました。経常費用は、政策金利引き上げに伴う預金利息の増加に加え、国債等債券売
却損が増加したことなどにより、前年同期比20億57百万円増加の132億34百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比11億70百万円増加の37億99百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同
期比8億64百万円増加の25億62百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

連結財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末比433億円増加の3兆224億円、純資産は前連結会計年度
末比34億円増加の1,569億円となりました。

主要な勘定の残高につきましては、預金は、新年度の財務活動及び季節的要因による公金預金の増加や経済活動の
活発化による個人預金、法人預金の増加により、銀行・信託勘定合計で前連結会計年度末比398億円増加の2兆7,355
億円となりました。

貸出金は、法人向けシンジケートローン等による増加や、個人向け住宅・アパート資金の増加等はあったものの、
法人及び地公体向け一時借入金の返済により、銀行・信託勘定合計で前連結会計年度末比225億円減少の1兆9,230億
円となりました。

有価証券は、金利リスクや残存期間に配慮しつつ資金の効率的運用と安定収益の確保に努めた結果、前連結会計年
度末比166億円増加の6,051億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2026年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2025年5月9日に公表した数値から変
更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
現金預け金	349,388	399,670
買入金銭債権	1,682	1,798
金銭の信託	1,208	1,946
有価証券	588,497	605,129
貸出金	1,944,196	1,921,698
外国為替	12,362	8,440
リース債権及びリース投資資産	20,287	21,073
その他資産	34,726	38,075
有形固定資産	17,869	18,279
無形固定資産	3,696	3,471
退職給付に係る資産	969	1,055
繰延税金資産	10,541	9,242
支払承諾見返	6,648	5,856
貸倒引当金	△13,032	△13,312
資産の部合計	2,979,042	3,022,427
負債の部		
預金	2,686,573	2,726,276
借用金	92,042	90,627
外国為替	5	18
信託勘定借	7,798	7,955
その他負債	29,478	32,426
賞与引当金	854	237
役員賞与引当金	20	8
退職給付に係る負債	398	400
役員退職慰労引当金	21	16
株式報酬引当金	191	162
株式給付引当金	235	235
利息返還損失引当金	8	8
睡眠預金払戻損失引当金	71	49
特別法上の引当金	5	5
繰延税金負債	42	47
再評価に係る繰延税金負債	1,138	1,138
支払承諾	6,648	5,856
負債の部合計	2,825,534	2,865,469

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	22,216	22,216
利益剰余金	128,225	129,474
自己株式	△3,946	△3,913
株主資本合計	166,495	167,777
その他有価証券評価差額金	△17,341	△15,608
繰延ヘッジ損益	2,098	2,518
土地再評価差額金	1,088	1,088
退職給付に係る調整累計額	1,131	1,145
その他の包括利益累計額合計	△13,023	△10,855
新株予約権	36	36
純資産の部合計	153,508	156,957
負債及び純資産の部合計	2,979,042	3,022,427

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
経常収益	13,806	17,034
資金運用収益	7,830	10,166
(うち貸出金利息)	6,352	7,776
(うち有価証券利息配当金)	1,337	1,927
信託報酬	14	13
役務取引等収益	1,704	1,752
その他業務収益	3,589	3,574
その他経常収益	666	1,528
経常費用	11,177	13,234
資金調達費用	331	1,237
(うち預金利息)	121	1,106
役務取引等費用	321	50
その他業務費用	3,570	4,919
営業経費	6,256	6,337
その他経常費用	697	690
経常利益	2,629	3,799
特別利益	0	—
固定資産処分益	0	—
特別損失	3	3
固定資産処分損	3	3
税金等調整前四半期純利益	2,625	3,796
法人税、住民税及び事業税	693	893
法人税等調整額	234	340
法人税等合計	927	1,233
四半期純利益	1,698	2,562
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,698	2,562

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
四半期純利益	1,698	2,562
その他の包括利益	△3,963	2,167
その他有価証券評価差額金	△4,869	1,732
繰延ヘッジ損益	888	420
退職給付に係る調整額	18	14
四半期包括利益	△2,265	4,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,265	4,729

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	9,728	2,842	12,571	1,240	13,811	△5	13,806
セグメント間の内部経常収益	458	20	479	585	1,064	△1,064	—
計	10,187	2,863	13,050	1,825	14,876	△1,069	13,806
セグメント利益	2,754	53	2,807	199	3,007	△378	2,629

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、金融商品取引業、クレジットカード業、信用保証業等であります。

3. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	12,950	2,949	15,900	1,134	17,034	△0	17,034
セグメント間の内部経常収益	70	18	89	603	692	△692	—
計	13,021	2,968	15,989	1,737	17,726	△692	17,034
セグメント利益	3,377	67	3,444	308	3,753	45	3,799

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、金融商品取引業、クレジットカード業、信用保証業等であります。

3. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	577百万円	555百万円

(4) (参考) 四半期信託財産残高表

連結会社のうち、「金融機関の信託業務の兼営等に関する法律」に基づき信託業務を営む会社は、株式会社沖縄銀行1社です。

(単位：百万円)

資産		
科目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
貸出金	1,365	1,303
その他債権	0	0
銀行勘定貸	7,798	7,955
合計	9,163	9,259

(単位：百万円)

負債		
科目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
金銭信託	9,163	9,259
合計	9,163	9,259

3. 補足説明

(1) 損益の状況

①おきなわフィナンシャルグループ 連結

経常収益は、政策金利引き上げを背景とした貸出金利息や預け金利息の増加に加え、有価証券利息配当金や株式等売却益が増加したことなどにより、前年同期比32億28百万円増加の170億34百万円となりました。

連結業務粗利益は、国債等債券売却損の増加などにより、その他業務利益が減少したものの、資金利益及び役務取引等利益が増加したことにより、前年同期比3億83百万円増加の92億99百万円となりました。

経常利益は、連結業務粗利益の増加及び株式等関係損益の増加の他、与信費用の減少により、前年同期比11億70百万円増加の37億99百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比8億64百万円増加の25億62百万円となりました。

(単位：百万円)

科 目	2026年3月期	対前年同期比	2025年3月期	2026年3月期 通期業績予想 (12ヶ月)
	第1四半期 (3ヶ月)		第1四半期 (3ヶ月)	
経常収益	17,034	3,228	13,806	68,000
連結業務粗利益	9,299	383	8,916	
資金利益	8,929	1,429	7,499	
信託報酬	13	△ 0	14	
役務取引等利益	1,701	318	1,383	
その他業務利益	△ 1,345	△ 1,364	18	
営業経費	6,337	81	6,256	
貸倒償却引当費用	362	△ 258	620	
一般貸倒引当金繰入額	193	200	△ 6	
個別貸倒引当金繰入額	86	△ 417	503	
貸出金償却	82	△ 41	123	
株式等関係損益	1,171	636	534	
その他	28	△ 26	55	
経常利益	3,799	1,170	2,629	13,000
特別損益	△ 3	0	△ 3	
固定資産処分損益	△ 3	0	△ 3	
税金等調整前四半期純利益	3,796	1,170	2,625	
法人税、住民税及び事業税	893	200	693	
法人税等調整額	340	105	234	
法人税等合計	1,233	306	927	
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,562	864	1,698	9,000

与信費用	362	△ 258	620
------	-----	-------	-----

(参考)

【主要グループ会社の損益の状況】

科 目	2026年3月期	2025年3月期					その他 (注1)
	第1四半期 (3ヶ月)	沖縄銀行	おきぎん リース	おきぎん JCB	おきぎん 証券	おきぎん SPO	
経常収益	17,034	13,021	2,973	460	229	475	△ 125
経常利益	3,799	3,377	67	103	△ 11	55	206
四半期純利益	2,562	2,310	40	68	△ 11	36	118

当社は金融をコアとする総合サービスグループとして地域社会とともに成長することを目的としている為、主要グループ会社の損益状況についても記載しております。

(注1)「その他」には内部消去等の他、(株)おきなわフィナンシャルグループ、おきぎん保証(株)、おきぎんビジネスサービス(株)、

(株)おきぎん経済研究所、美ら島債権回収(株)、(株)みらいおきなわが含まれています。

②沖繩銀行 単体

経常収益は、政策金利引き上げを背景とした貸出金利息や預け金利息の増加に加え、有価証券利息配当金や株式等売却益が増加したことなどにより、前年同期比28億34百万円増加の130億21百万円となりました。

コア業務純益は、政策金利の引き上げに伴い、資金利益が増加したことに加え、役員取引等利益が増加したことにより、前年同期比10億7百万円増加の40億53百万円となりました。

経常利益は、国債等債券関係損益が減少したものの、コア業務純益及び株式等関係損益の増加の他、与信費用の減少により、前年同期比6億22百万円増加の33億77百万円となりました。

四半期純利益は前年同期比3億71百万円増加の23億10百万円となりました。

(単位：百万円)

科 目	2026年3月期 第1四半期 (3ヶ月)		2025年3月期 第1四半期 (3ヶ月)
		対前年同期比	
経常収益	13,021	2,834	10,187
業務粗利益	8,295	19	8,275
資金利益	8,788	1,064	7,723
うち投資信託解約損益	-	△ 56	56
役員取引等利益	1,410	309	1,100
うち信託勘定不良債権処理額 ①	-	-	-
その他業務利益	△ 1,903	△ 1,354	△ 548
うち国債等債券関係損益(5勘定戻)	△ 1,567	△ 1,144	△ 423
経費(除く臨時処理分)	5,809	156	5,653
うち人件費	2,279	71	2,207
うち物件費	2,830	64	2,765
実質業務純益	2,485	△ 136	2,622
コア業務純益	4,053	1,007	3,045
除く投資信託解約損益	4,053	1,064	2,988
一般貸倒引当金繰入額 ②	173	171	2
業務純益	2,312	△ 307	2,619
臨時損益	1,064	930	134
うち株式等関係損益(3勘定戻)	1,171	636	534
うち不良債権処理額 ③	57	△ 340	397
うち償却債権取立益	0	△ 12	13
経常利益	3,377	622	2,754
特別損益	△ 3	0	△ 3
税引前四半期純利益	3,373	622	2,750
法人税、住民税及び事業税	742	182	559
法人税等調整額	320	68	252
法人税等合計	1,063	251	812
四半期純利益	2,310	371	1,938
与信費用(①+②+③)	231	△ 168	400

(注) 1. 実質業務純益＝業務粗利益－経費(除く臨時処理分)

2. 業 務 純 益＝業務粗利益－経費(除く臨時処理分)－一般貸倒引当金繰入額

3. コア業務純益＝業務純益－国債等債券関係損益＋一般貸倒引当金繰入額＋信託勘定不良債権処理額

4. 不良債権処理額＝個別貸倒引当金繰入額＋貸出金償却＋信託元本補填引当金繰入額＋債権売却損

(2) 預金等、貸出金の状況

① 預金等の残高

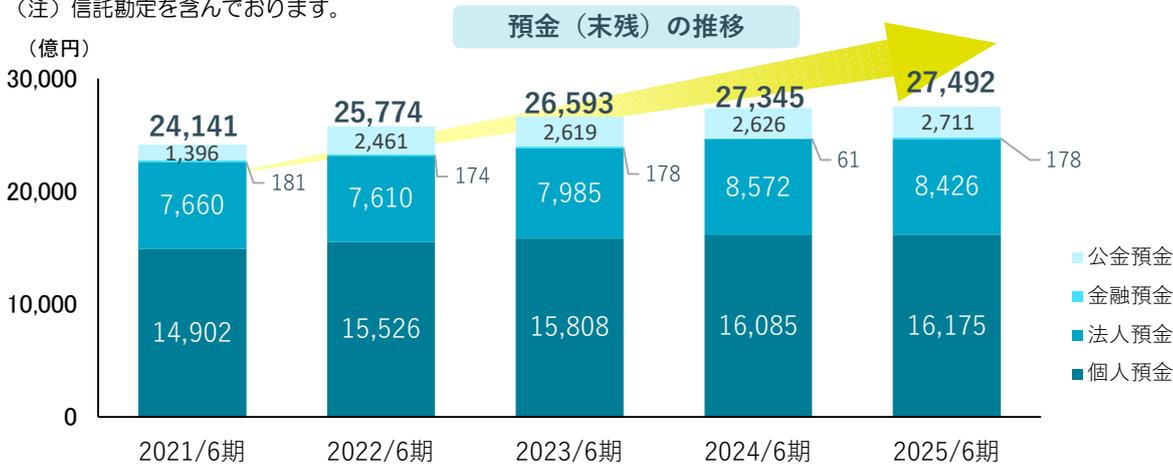
預金は、指定金融機関受託数の増加による公金預金の増加や個人預金、金融預金が増加したことなどから、銀行・信託勘定合計で前年同期比147億円増加の2兆7,492億円となりました。

また預かり資産は、お客様の資産形成のニーズに応えるため、それぞれのライフステージに沿った商品及びサービスの提供に取り組んだ結果、前年同期比282億円増加の3,324億円となりました。

〔預金（沖縄銀行単体）〕

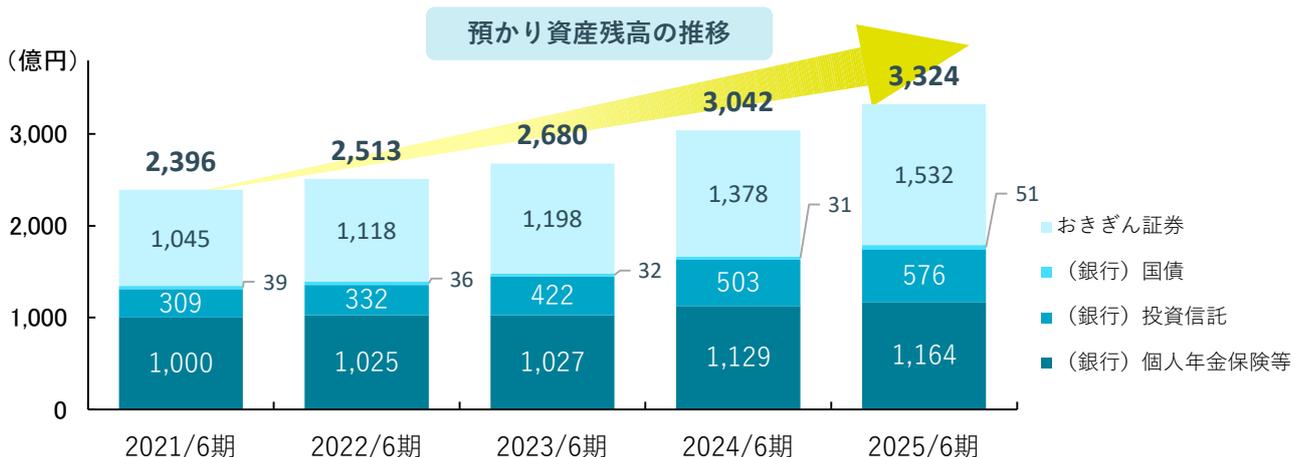
	(単位：億円、%)			(参考) (単位：億円、%)	
	① 2025年6月末	② 2024年6月末	増減額 (① - ②) (増減率)	③ 2025年3月末	増減額 (① - ③) (増減率)
預金(未残)	27,492	27,345	147 (0.53)	27,162	330 (1.21)
うち 個人預金	16,175	16,085	90 (0.56)	16,052	123 (0.76)
うち 法人預金	8,426	8,572	△145 (△1.69)	8,340	86 (1.03)
うち 金融預金	178	61	116 (188.70)	182	△4 (△2.40)
うち 公金預金	2,711	2,626	85 (3.25)	2,586	125 (4.84)
預金(平残)	27,418	26,958	459 (1.70)	26,994	423 (1.56)

(注) 信託勘定を含んでおります。



〔預かり資産（沖縄銀行+おきぎん証券）〕

	(単位：億円、%)			(参考) (単位：億円、%)	
	① 2025年6月末	② 2024年6月末	増減額 (① - ②) (増減率)	③ 2025年3月末	増減額 (① - ③) (増減率)
預かり資産	3,324	3,042	282 (9.28)	3,179	145 (4.58)
沖縄銀行	1,792	1,663	128 (7.70)	1,719	72 (4.23)
国債	51	31	19 (62.62)	41	9 (21.70)
投資信託	576	503	73 (14.60)	530	46 (8.79)
個人年金保険等	1,164	1,129	35 (3.10)	1,147	17 (1.48)
おきぎん証券	1,532	1,378	154 (11.19)	1,459	73 (5.00)



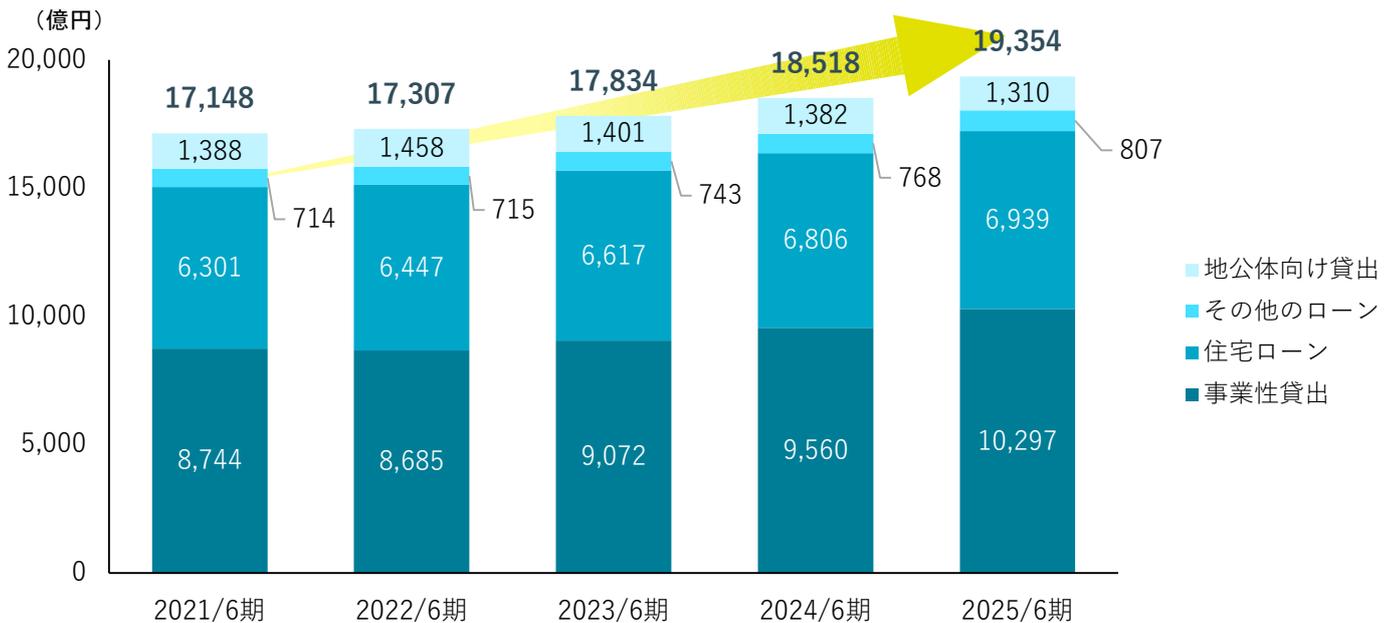
②貸出金の残高【沖縄銀行 単体】

貸出金は、県内経済活動の活発化や、コスト上昇に対する資金需要への積極的な対応により事業性貸出が増加したことに加え、スピード審査等の迅速な対応や、制度拡充(融資上限・融資期間)、営業推進強化により生活密着型ローンも増加したことなどから、銀行・信託勘定合計で前年同期比836億円増加の1兆9,354億円となりました。

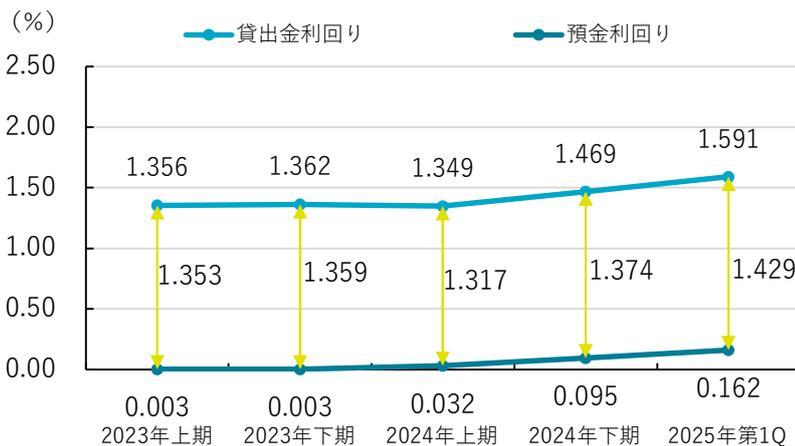
	(単位:億円、%)			(参考) (単位:億円、%)	
	① 2025年6月末	② 2024年6月末	増減額(①-②) (増減率)	③ 2025年3月末	増減額(①-③) (増減率)
貸出金(末残)	19,354	18,518	836 (4.51)	19,566	△212 (△1.08)
うち事業性貸出	10,297	9,560	736 (7.70)	10,295	1 (0.01)
うち生活密着型ローン	7,747	7,575	171 (2.26)	7,697	49 (0.64)
うち住宅ローン	6,939	6,806	132 (1.94)	6,890	48 (0.70)
国・地公体向け貸出	1,310	1,382	△72 (△5.21)	1,573	△263 (△16.73)
貸出金(平残)	19,227	18,457	769 (4.16)	18,686	541 (2.89)

(注) 信託勘定を含んでおります。

貸出金(末残)の推移



③利回りの推移



(注1) 「2025年第1Q」は第1四半期(4~6月)の会計期間利回りです。

(注2) 信託勘定を含んでおりません。

(注3) 2023年下期以前の預金利回りは、実質円金利ベースで記載しております。

※実質円金利ベース…予約(スワップ)付外貸定期預金において通貨間金利調整を行った後の実質円預金利回りです。

(3)金融再生法ベースの 카테고리による開示

おきなわフィナンシャルグループ連結の金融再生法開示債権残高は、前年度末比5億円減少の289億円となり、開示債権比率は、前年度末比0.01ポイント低下の1.49%となりました。将来のリスクに備え、貸出金の健全性を維持するため適切な引当・償却を実施しております。

【おきなわフィナンシャルグループ 連結】

	(単位：億円、%)		
	① 2025年6月末	② 2025年3月末	増減額 (① - ②)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	164	132	31
危険債権	49	88	△ 38
要管理債権	74	73	1
開示債権合計	289 (1.49)	294 (1.50)	△ 5 (△ 0.01)

(参考)		(単位：億円、%)	
③ 2024年6月末	増減額 (① - ③)		
128	35		
55	△ 5		
90	△ 15		
274 (1.48)	14 (0.01)		

(注) 信託勘定を含んでおります。

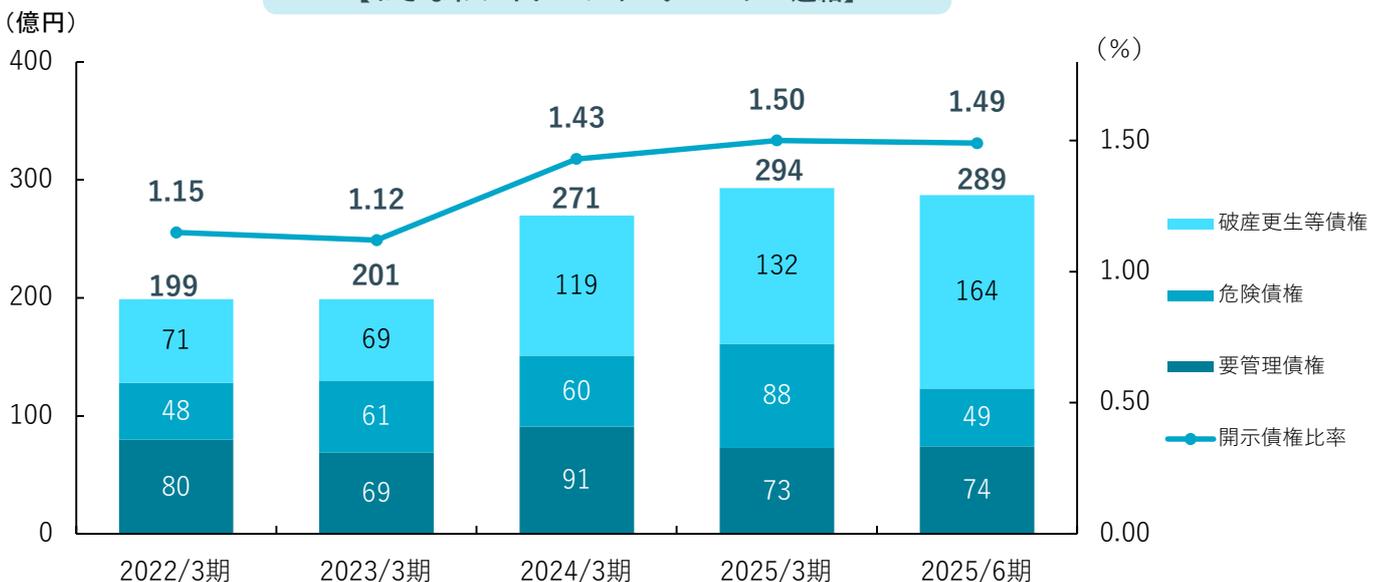
【沖縄銀行 単体】

	(単位：億円、%)		
	① 2025年6月末	② 2025年3月末	増減額 (① - ②)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	160	128	32
危険債権	49	88	△ 38
要管理債権	74	73	1
開示債権合計	285 (1.46)	289 (1.47)	△ 4 (△ 0.01)

(参考)		(単位：億円、%)	
③ 2024年6月末	増減額 (① - ③)		
124	36		
55	△ 5		
90	△ 15		
270 (1.45)	14 (0.01)		

(注) 信託勘定を含んでおります。

金融再生法に基づく開示債権額・比率
【おきなわフィナンシャルグループ 連結】



(4)有価証券の評価差額

【おきなわフィナンシャルグループ 連結】

市場価格のない有価証券は含めておりません。

(単位：億円)

	① 2025年6月末		② 2025年3月末		増減額 (① - ②)	
	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
満期保有目的の債券	427	△ 60	427	△ 56	0	△ 4
国債	427	△ 60	427	△ 56	0	△ 4

(参考)

(単位：億円)

③ 2024年6月末		増減額 (① - ③)	
帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
426	△ 39	0	△ 21
426	△ 39	0	△ 21

(単位：億円)

	① 2025年6月末		② 2025年3月末		増減額 (① - ②)	
	時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額
その他有価証券	5,586	△ 226	5,423	△ 251	163	25
株式	194	63	192	61	2	1
債券	3,490	△ 273	3,730	△ 288	△ 239	15
その他	1,901	△ 16	1,500	△ 24	401	7
うち外国債券	1,054	△ 14	827	△ 11	226	△ 2

(参考)

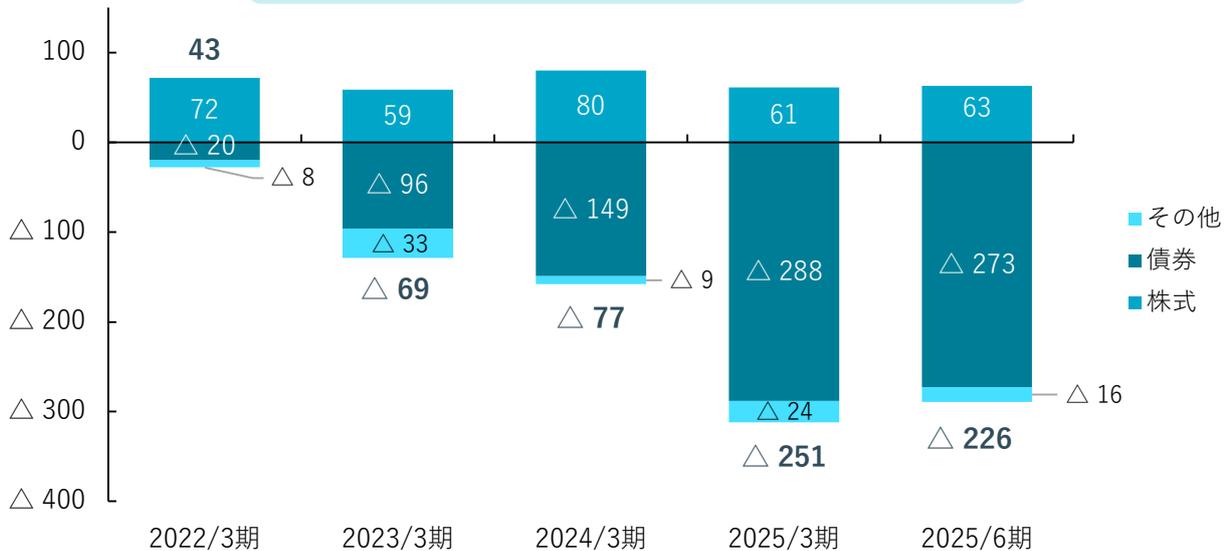
(単位：億円)

③ 2024年6月末		増減額 (① - ③)	
時価	評価差額	時価	評価差額
4,977	△ 147	609	△ 78
198	81	△ 3	△ 17
3,762	△ 216	△ 271	△ 57
1,016	△ 12	884	△ 3
489	△ 6	564	△ 8

(注) 各四半期末の「含み損益」及び「評価差額」は、各四半期末の帳簿価額(償却原価法適用後・減損処理後)と時価との差額を計上しております。

その他有価証券の評価差額
【おきなわフィナンシャルグループ 連結】

(億円)

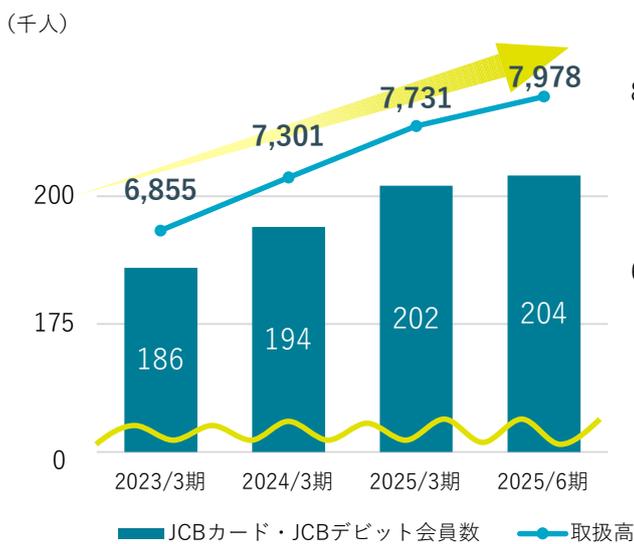


(5) キャッシュレス関連

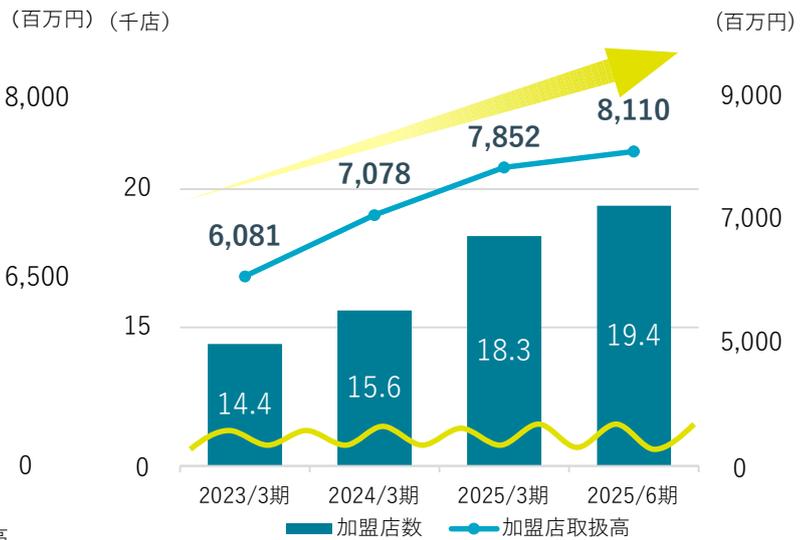
【沖縄銀行・おきぎんジェーシービー】

商品の利便性向上への取り組みを継続しつつ、お客さまの多種多様なニーズに対し幅広く提案した結果、キャッシュレス関連商品(JCBカード・JCBデビット、JCB加盟店、おきぎんSmart、OKI Pay)は以下のとおり好調に推移いたしました。

JCBカード・JCBデビット会員数及び取扱高

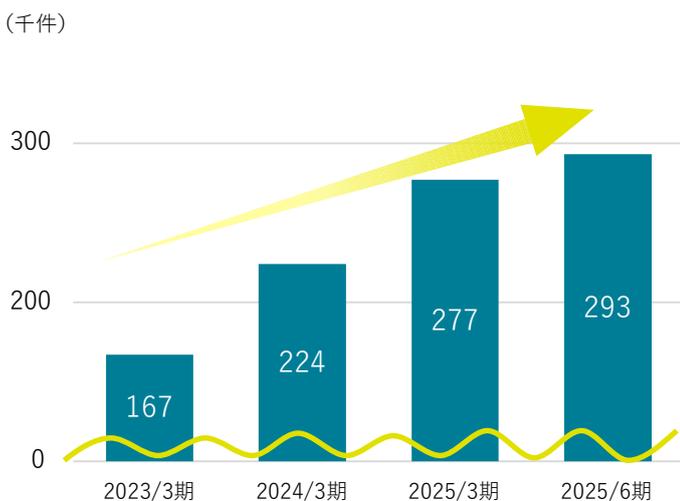


JCB加盟店契約数及び加盟店取扱高

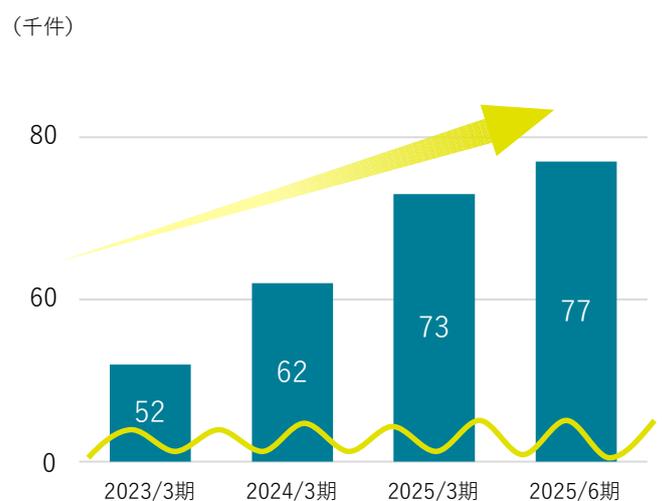


※取扱高及び加盟店取扱高：当該月が属する事業年度の累計期間における1カ月間の平均利用額

おきぎんSmart ユーザー登録件数



OKI Pay ユーザー口座登録件数



おきぎんSmart：スマホで簡単に残高/明細の確認や送金、住所変更、投資信託の口座開設及び購入・解約等が行えるアプリです。

OKI Pay：スマホ1つでお支払いができる「キャッシュレス&カードレス」な決済サービスアプリです。